

日本鉄鋼協会役員

さる4月6日開催の第56回通常総会において、理事、監事および評議員の選挙が行なわれました結果次のごとく選任されました。本年度の本会役員は留任と合わせ次のとおりであります。(敬称略)

理事副会長 長谷川正義 吉崎鴻造 (任期2年)

理事 (任期2年)

相原満寿美	荒木 透	池田 正	石原 重利	小田 助男	木下 禾大
斎藤 恒三	鈴木 正敏	関 文男	田畑新太郎	長谷川太郎	堀川 一男
盛 利貞	矢島悦次郎	安田 洋一	吉井 周雄	吉田 浩	

監事 (任期2年)

池上 平治

評議員 (任期2年)

秋田 正弥	阿部 秀夫	家永 英吉	石井健一郎	石田 求	石原 幸男
伊藤 恒郎	伊藤 正夫	伊藤 隆吉	稲田 辰男	今井 光雄	今里 広記
伊藤 伍隆	打浪 吉朝	大竹 正	大中都四郎	大原 久之	今元 博
大矢根大器治	岡村 武	小野 健二	尾本 秀為	桂 寛一郎	金沢 千春
河合 正雄	川合 保治	河上 益夫	河田 和美	川田多佐雄	菊池 浩介
草川 隆次	熊田健三郎	小出 秋彦	河野 典夫	五弓 勇雄	後藤 俊信
佐藤 忠雄	佐野 幸吉	沢村 企好	沢村 宏	三本木貢治	塩沢 正一
島村 哲夫	清水 正博	下山田正俊	末光 秀雄	杉沢 英男	梶山 正孝
住友 元夫	角野 尚徳	染野 檀	高畑 幸男	高村 仁一	多賀谷正義
滝沢 中	田口 連三	竹入 信	武尾敬之助	竹原 康夫	田尻 惟一
館 充	田中 良平	谷川 正夫	俵 信次	茶谷 順次	辻 良夫
津田 久	出口喜勇爾	土居 寧文	外島 健吉	富山英太郎	豊田 茂馨
中島 道文	中野 邦弘	中野 宏	中浜 軍治	中村 恒次	名見 耶
西 博	丹羽 貴知	野田 郁也	橋本 芳雄	峰谷 龍馬	福田 達宣
原田 芳	久田 清明	平井 達三	平世 将一	平田 龍	福田 宣雄
堀口 定雄	本田宗一郎	牧田与一郎	町田 業太	松岡 正雄	松下 長久
松田 耕平	松田 新市	松本 豊	丸山 益輝	三浦 懋	三河 定男
三島 徳七	宮下格之助	村田 巖	室井嘉治馬	森田 志郎	門間 改三
八木 貞之助	矢野 巖	山内 二郎	山岡 武成	山下 伸六	山田良之助
山野上重喜	山本真之助	山本 信公	横田 正成	横山金三郎	吉田 実
米田 健三	渡辺 省三				

(留任)

理事会長

的場 幸雄	鍵和田暢男	河合 正吉	木下 亨	坂尾 弘	田中 実
足立 彰	西原 守	塙阪 力郎	不破 祐	藤木 俊三	松下 幸雄
中村 信夫	山本 大作				

監事

森崎 晟					
伊木 常世					

評議員

赤坂 武	葦沢 大義	東 道生	荒牧 寅雄	井戸崎好次	井上 利行
井上 敏郎	井上 道雄	池島 俊雄	石渡 石良	市川 忍	今井勇之進
入 二	岩井 英夫	岩村 慎一郎	内山 道良	越後 正一	小野田 英雄
尾崎 利雄	尾崎 健三	尾上 慎一郎	大浜 侃	岡林 邦夫	岡部 英彦
奥村 虎雄	加藤 健三	香川 英史	鍵山 正則	金森 祥一	亀田 満彦
川又 克二	河合 良一	河西 源吉	喜代永政雄	久米 定男	黒田 康彦
小林佐三郎	小林清一郎	小林 隆吉	幸田 成康	河野 文彦	駒井健一郎
佐藤 健二	佐藤 知雄	西郷 吉郎	齋藤 弥平	作井 誠太郎	作田 裕宣
里井孝三郎	設楽 正雄	芝崎 邦夫	下田 秀夫	白井富次郎	菅野 五郎
菅野 猛	芹沢 正雄	田島 治	田中 四郎	太幸 三郎	平 修二
高石 誠二	高尾善一郎	高野 広	武田 喜三	立花 保夫	館野 万吉
谷口 光平	俵 隆治	辻畑 敬治	筒井統一郎	出淵 国保	豊島 清三
豊田 英二	中島 泰祐	中島 長久	中島 賢吉	橋村 正吉	橋本 隆一
早川 育雄	中山 忠行	永江 賢吉	萩原 廣	中橋 正樹	中村 宇一
藤本 種三郎	日向 方齐	松永陽之助	富士崎成一	藤井東	藤野 忠次郎
三谷 裕康	堀田之孝	松永陽之助	松原 与三郎	松本 茂樹	三島 良
村尾時之助	美馬源次郎	南 保夫	嶺 次男	宮代 彰	鞭 巖
安田安次郎	森 暁	森 一美	森永 孝三	森 隆弘	矢野 巖
和田 龜吉	安永 和民	山崎 正一	山本 博	養田 実	吉村 精仁

浅田長平記念資金受領のお知らせ

本会は、去る4月6日開催の例会第56回通常総会において株式会社神戸製鋼所より前取締役会長故浅田長平氏を記念して、浅田長平記念資金3,000万円を寄贈されましたのでお知らせいたします。

なお本資金による事業については関係者のご意向をもとに検討され、昭和47年度から実施されることになっております。

名誉会員推挙のお知らせ

さる4月6日開催の第56回通常総会において次のように名誉会員の推挙が行なわれましたのでお知らせいたします。

新名誉会員

藤本一郎君 (川崎製鉄(株)社長)	Charles B. Baker 君 (IISI 事務局長)
Lucien Coche 君 (IRSID 理事長)	Morris Cohen 君 (ASM 前会長)
Angel Cervini 君 (ILAFA 会長)	

第2回「鉄鋼の強度と靱性」シンポジウム開催のお知らせ

鉄鋼基礎共同研究会、強度と靱性部会（日本鉄鋼協会、日本金属学会、日本学術振興会）主催で下記により標記シンポジウムを開催いたしますので奮ってご参加下さい。

記

1. 日 時：昭和46年6月9日（水）9:30～16:30
2. 場 所：農協ホール（千代田区大手町、農協ビル内）
交通：地下鉄丸の内線、東西線、千代田線大手町下車
電話：(03) 279-0311
3. 講 演：

—あいさつ—	東 大 荒木 透君
(1) 9:30～11:00 (座長：北島一徳君) 鋼の靱性について	早 大 幸田 成康君
(2) 11:00～12:30 (座長：田村今男君) 高強度鋼の熱処理と靱性	東北大 須藤 一君
(3) 13:30～15:00 (座長：邦武立郎君) 超細粒化鋼について	新日鉄 鈴木 信一君 金沢 正午君
(4) 15:00～16:30 (座長：長島晋一君) 構造用鋼材の延性	鋼 管 小指 軍夫君
4. 参加費無料：事前の申込は不要です。
5. テキスト：500円
前売りご希望の方は5月25日（必着）までに500円（送料込）を添えて下記宛現金書留でお申し込み下さい。
5月25日以後は鉄鋼協会または当日会場にて販売いたします。
6. 連絡先：〒100 東京都千代田区大手町経団連会館3階
日本鉄鋼協会技術部 強度と靱性部会事務局 Tel. 03-279-6021

**日本鉄鋼協会東海支部
学術講演会(研究発表会)講演募集
ならびに特別講演会・見学会のお知らせ**

本会東海支部では下記により学術講演会ならびに特別講演会・見学会を開催することになりましたので多数ご聴講ご応募下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 { 学術講演会 昭和46年 5月25日(火) 9:00~17:00
 { 特別講演会
 見学会 昭和46年 5月26日(水) 9:00~17:00
 2. 会 場 学術講演 名古屋市中区栄二丁目17の22
 名古屋立科学館ホール 中部科学技術センター
 特別講演 名古屋立科学館ホール
 3. 特別講演 “塑性変形による材料の異方化” 名古屋大学工学部教授 戸沢康寿氏
 4. 見学会 トヨタ自動車工業株式会社・新東工業株式会社
- 応募方法 学術講演会 適宜用紙に講演題目、氏名、勤務先明記のうえ5月10日(月)までにお申込み下さい。申込者には当方よりオフセット用原稿用紙をお送り申し上げますので規定の様式により概要原稿を作成し5月17日(月)必着までにご返送いただきます。
- 見学会 勤務先、役職名、氏名記入のうえ会費会員500円、学生300円(現金書留)を添えて5月20日(木)厳守までにお申し込み下さい。定員50名になり次第締切ります。同業者はご遠慮下さい。
- 申 込 先 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部 日本鉄鋼協会東海支部

第3回結晶成長国内会議(NCCG-3)講演募集

主催 日本金属学会 協賛 日本鉄鋼協会

第3回結晶成長国内会議(National Conference on Crystal Growth-3)を下記の要領で開催いたします。1974年の日本における国際会議も近づきましたので、このNCCG-3へのご参加と講演ご応募を希望いたします。

記

1. 日 時 1971年 10月 5日(火)、6日(水)
2. 場 所 東京都千代田区平河町 日本都市センター 電話 265-8211
3. 内 容 1) 招待講演

1. 氷の結晶成長	北大工 東 晃
2. 融液よりの結晶成長	阪大産研 桐山 良一
3. 金属ひげ結晶の表面拡散律速成長	東大工 橋口 隆吉
4. 生物における結晶的構造の成長	名大工 大沢 文夫

 2) 一般講演(1件 20分以内)
4. 一般講演の申込手続
 - 1) 申込期限: 1971年 7月 31日 申込受付後直ちに所定の予稿原稿用紙を著者に送付いたします。
 - 2) 申込先: 〒113 東京都文京区本郷 7-3-1 東大工学部冶金学科 橋口教授室 NCCG 係
 - 3) 申込方法
官製はがきに 1. 題目, 2. 要旨(プログラム中の位置を決めるための簡単な説明), 3. 著者の氏名と所属(登壇者に丸印), 4. 連絡先を明記すること。
5. 予稿原稿の提出
 - 1) 締切期日: 1971年 8月 31日
 - 2) 原稿提出先: 前記申込先と同じく東大工学部冶金学科橋口教授室 NCCG 係
 - 3) 予稿の長さ: 図, 写真を含み所定の原稿用紙(オフセット用) 1ページ以内
6. 参加方法
 - 1) 参加費: 600円(講演予稿集代を含む) 当日会場でいただきます。
 - 2) 懇親会: 10月 5日午後 6時から開催(会費その他当日会場掲示)
7. 会議の内容

NCCGの一般講演の研究内容は結晶の成長に関するものなら何でも結構です。金属その他の無機物結晶、有機物結晶、高分子結晶、生物結晶などの成長に関する理論、実験、成長条件と成長した結晶の性質または二次構造との関係、凝固における結晶成長、結晶成長の方法と技術、工業的な結晶製造法などが一応の範囲ですが、この範囲を出ても結晶の成長を主題とする研究であれば差支えありません。

第4回真空冶金国際会議のお知らせ

(Fourth International Conference on Vacuum Metallurgy)

日本鉄鋼協会, 日本金属学会, 日本真空協会, 共催のもとに 1973年6月4日(月)から8日(金)まで, 東京経団連会館において, 第4回真空冶金国際会議を開催致します。本国際会議の 1st Circular がこの程出来上りましたので, 全文をご案内申し上げます。

1. Purpose and Scope of the Conference

The Fourth International Conference on Vacuum Metallurgy will be held in Tokyo from Monday 4th to Friday 8th June 1973, under the auspices of The Iron and Steel Institute of Japan, The Japan Institute of Metals and The Vacuum Society of Japan.

The purpose of this conference is to exchange information on the progress and development of vacuum metallurgy throughout the world. The emphasis will be placed on physical chemistry of vacuum metallurgy, recent development of processes, operations, products, and economics.

The subjects presently planned are as follows :

- 1) Physical Chemistry of Vacuum Metallurgy (Kinetics, Thermodynamics, etc.)
- 2) Vacuum Melting and Refining Processes (Induction, VAR, ESR, Electron Bombardment, Vacuum Degassing of Metals, etc.)
- 3) Process Metallurgy in Vacuum (Pidgeon Process, Vacuum Distillation, Thermal Decomposition, Reduction in Vacuum, etc.)
- 4) Welding and Casting under Vacuum
- 5) Behavior of Materials in a Vacuum Environment
- 6) Vacuum Deposition of Coatings and Self-supported Structures
- 7) Properties and Application of Vacuum Metallurgical Products
- 8) Vacuum Equipment for Metallurgical Processes
- 9) Economics of Vacuum Metallurgical Operations and Products
- 10) Other Topics in Vacuum Metallurgy

ROUND TABLE DISCUSSIONS

2. Schedule of the Conference

June 3rd (Sunday)	Registration
June 4th (Monday)	Opening and Plenary Session
June 5th (Tuesday)	Morning and Afternoon Sessions
June 6th (Wednesday)	Morning and Afternoon Sessions
June 7th (Thursday)	Morning and Afternoon Sessions
June 8th (Friday)	Morning and Afternoon Sessions

3. Language

The language used in the conference will be English. Simultaneous translation service will not be available.

4. Organizing Board

Advisory Board

Dr. R.F. Bunshah	Professor of Metallurgy University of California, UCLA School of Engineering & Applied Science Los Angeles, California 90024 U.S.A.
Dr. F. Sperner	Leybold-Heraeus W. C. Heraeus GMBH 645 Hanau West Germany

Dr. N. V. Ageev Academician, Professor
 Director
 Baikov Institute of Metallurgy
 Leninskii Prospect 49
 Moscow, B-334
 U.S.S.R.

Chairman of Organizing Committee

Dr. S. Matoba President of the Iron and Steel Institute of Japan
 Professor Emeritus, Tohoku University

Chairman of Executive Committee

Dr. T. Saito Professor, Tohoku University

5. Inquiries

Inquiries and correspondence pertinent to the Conference should be addressed to :

Mr. S. Tabata
 Conference Secretariat
 The Iron and Steel Institute of Japan
 (Nippon Tekko Kyokai)
 Keidanren Kaikan (3rd Floor)
 9-4, Otemachi 1-chome, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan
 Telephone, Tokyo 279-6021 (Representative)
 Cable address : "NIPPONTEKKOKYO TOKYO"

日本鉄鋼協会原稿用紙価格変更のお知らせ

本会会誌「鉄と鋼」へ投稿される場合は本会所定の原稿用紙で投稿することになっております。原稿用紙(450字詰)は30枚綴30円で市販しておりましたが、このたび50枚綴70円で市販することになりましたので、お知らせいたします。また送料は下記のとおりでございますので、送料を添えてお申し込み下さい。

記

送 料

1冊(18g) : 55円 2冊 : 95円 3~5冊 : 200円
 6~10冊(2kg) }
 11~21冊(4kg) } 下記表をご参照下さい。
 22~32冊(6kg) }

		2 kg	4 kg	6 kg
都 内	都内 23 区	70円	90円	110円
第 一	山宮福茨千栃都崎群山長石富新神静愛岐滋三 形城島城葉木下玉馬梨野川山瀉川岡知阜賀重	120〃	150〃	180〃
第 二	青秋岩福京和大奈兵岡鳥島広徳高香愛 森田手井都山阪良庫山取根島島知川媛	160〃	200〃	240〃
第 三	北山鹿福熊大宮佐長 海児岡本分崎賀崎 道口島	230〃	280〃	330〃

申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階
 社団法人 日本鉄鋼協会 庶務課 Tel. (03) 279-6021(代表)